

# 定期予防接種のてびき



\* 予防接種を受ける時は、必ず予約をして、母子健康手帳を持参してください。  
予防接種の忘れや、二重接種、間隔誤りなどを防ぐため、母子健康手帳を活用しましょう。

\* 予防接種は体調のよいときに受けましょう。

ワクチンの種類	2か月	3か月	5か月	6か月	7か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	接種方法	
<b>五種混合</b> ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ ヒブ <small>※不活化ポリオも同スケジュール</small> 不活化ワクチン	●生後2か月から接種しましょう <p>◎1期初回 生後2か月から7歳半に至るまでの間に3回</p> <p>◎1期追加 1期初回終了後、6か月以上あけて1回</p> <p>◎2期(DT)(二種混合) 11歳以上13歳未満に1回 (11歳が望ましい)</p>																			【1期初回】 20日以上の間隔をおいて3回接種 【1期追加】 初回接種終了後、6か月以上の間隔をおいて1回接種 【2期】(二種混合) 小学校5～6年生(11歳になってから)1回接種
<b>ヒブ</b> (インフルエンザ菌b型) 不活化ワクチン	●生後2か月から接種しましょう。 ※ヒブワクチンの接種を開始した者は、ヒブワクチンを接種する。これから五種混合ワクチンを接種する者は接種しない。 <p>◎生後2か月から5歳に至るまで (生後2か月から生後7か月に至るまでが望ましい)                      ※開始時期により、接種回数異なります。</p>																			【初回接種】 1歳に至るまでに、27日以上(標準として56日まで)の間隔をおいて3回接種 【追加接種】 初回接種終了後、7か月以上(標準として13か月まで)の間隔をおいて1回接種 ※初回2回目・3回目の接種が1歳に至るまでに完了していないときは、初回接種にかかる最後の注射終了後、27日以上の間隔をおいて1回接種
<b>四種混合</b> ジフテリア 百日せき 破傷風 ポリオ <small>※不活化ポリオも同スケジュール</small> 不活化ワクチン	●生後2か月から接種しましょう ※四種混合ワクチンの接種を開始した者は、四種混合ワクチンを接種する。これから五種混合ワクチンを接種する者は接種しない。 <p>◎1期初回 生後2か月から7歳半に至るまでの間に3回 (生後2か月から1歳に至るまでが望ましい)</p> <p>◎1期追加 1期初回終了後、6か月以上あけて1回 (1年～1年半たつて行うのが望ましい)</p> <p>◎2期(DT)(二種混合) 11歳以上13歳未満に1回 (11歳が望ましい)</p>																			【1期初回】 20日以上(標準として56日まで)の間隔をおいて3回接種 【1期追加】 初回接種終了後、6か月以上の間隔(標準として1年～1年半に達するまでの期間)をおいて1回接種 【2期】(二種混合) 小学校5～6年生(11歳になってから)1回接種
<b>小児用肺炎球菌</b> 不活化ワクチン	●生後2か月から接種しましょう。 <p>◎生後2か月から5歳に至るまで (生後2か月から生後7か月に至るまでが望ましい)                      ※開始時期により、接種回数異なります。</p>																			【初回接種】 2歳に至るまで(標準として1歳に至るまで)に、27日以上の間隔をおいて3回接種 ※2回目の接種が1歳を超えた場合、3回目は接種しない。 【追加接種】 初回接種終了後60日以上の間隔をおいて、1歳に至った日以降(標準として1歳から1歳半に達するまでの間)1回接種
<b>ロタウイルスワクチン</b> ※ R2年10月1日～開始 生ワクチン(経口摂取)	●生後2か月から接種しましょう。 ① <b>ロタリックス</b> <p>◎生後6週0日から生後24週0日まで                      ※標準的な接種開始時期は生後2か月から</p> ② <b>ロタテック</b> <p>◎生後6週0日から生後32週0日まで                      ※標準的な接種開始時期は生後2か月から</p>																			【初回接種】 どちらのワクチンも生後14週6日までに初回接種を行う。 ロタリックス: 27日以上の間隔をおいて2回接種する。生後24週0日までに接種を完了する。 ロタテック: 27日以上の間隔をおいて3回接種する。生後32週0日までに接種を完了する。 ※特別な事情がない限り、途中で種類の変更はできない
<b>B型肝炎</b> 不活化ワクチン	●生後2か月から接種しましょう。 ※ H28年10月1日～開始 <p>◎1歳に至るまで (生後2か月から生後9か月に至るまでが望ましい)</p>																			27日以上の間隔をおいて2回、1回目の接種から139日以上(20週)おいて1回接種。 ※対象: H28年4月1日以降生まれで、1歳に至るまでの者
<b>B C G (結核)</b> 生ワクチン	●生後5か月から接種しましょう。 <p>◎1歳に至るまで (生後5か月から生後8か月に至るまでが望ましい)</p>																			
<b>麻疹・風疹混合(MR)</b> 生ワクチン	●1期は、1歳になってから接種しましょう。 ●2期は、年長クラスになってから接種しましょう。 <p>◎1期 1歳から2歳に至るまでの間に1回</p> <p>◎2期 5歳以上7歳未満で、小学校入学年度前の1年間(年長組)の間に1回</p>																			【1期】1回接種 【2期】1回接種
<b>水痘(水ぼうそう)</b> 生ワクチン	●生後12か月から接種しましょう。 <p>◎3か月以上の間隔をおいて2回接種 (生後12か月から15か月に至るまでに1回、初回接種終了後6か月から12か月に至るまでの間隔をおいて1回接種が望ましい)</p>																			◎1歳から3歳に至るまで: 3か月以上の間隔をおいて2回接種
<b>日本脳炎</b> 不活化ワクチン	●1期初回は、3歳になってから接種しましょう。 <p>◎1期初回 生後8か月から7歳半に至るまでの間に2回 (3歳が望ましい)</p> <p>◎1期追加 1期初回終了後、6か月以上たつて1回 (4歳が望ましい)</p> <p>◎2期 9歳以上13歳未満に1回 (9歳が望ましい)</p>																			【1期初回】 6日以上(標準として28日まで)の間隔をおいて2回接種 【1期追加】 初回接種終了後6か月以上経過した時期に1回 (標準としておおむね1年の間隔) 【2期】 小学校3～4年生(9歳になってから)で1回接種 ※平成19年4月1日までに生まれた人については特別措置があります。詳しくは医療機関または保健センターへお問い合わせください。

## 病後の予防接種について



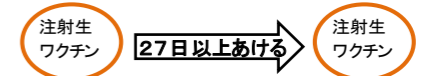
病後の予防接種は、病気が良くなってから接種しましょう。

●急性感染症 (風疹、はしか、水痘、おたふくかぜ、など)  
⇒ 治ゆ後2～4週間後

●ウイルス性疾患 (突発性発疹、手足口病、など)  
⇒ 治ゆ後1～2週間後

## 接種間隔が変更になっています!

これまでの、異なるワクチンを接種する場合、次のワクチンを接種するまでに、一定の間隔をあげる必要がありましたが、その制限が一部緩和されることになりました。注射生ワクチンに関しては、従来通りの接種間隔となります。



※その他のワクチンの接種間隔については、医療機関と相談のうえ、計画的に接種しましょう。